

うしくまっ子

令和3年11月26日 文責 上野 二郎



寒い季節だからこそ あたたかい心で…

2学期の終業式まで、1ヶ月ほどになってしまいました。朝7時でも薄暗く、寒い日々が続きますが、子どもたちの背中を押して声をかけ、しっかり登校させていただいていることに感謝いたします。

中学校では、期末試験も終わり、テスト結果がかえされた後は、もう3学期の学習が始まるのだそうです。小学校では、今から最後の単元の学習や最後のテスト、2学期の復習などを行っていきます。2学期に学習する内容を、しっかり身につけるためにも、風邪などの体調不良で欠席することが無いようにしたいものです。

さて、寒い季節に届いた、「あたたかい心」を感じるニュースをご紹介します。もともと優しく素直に頑張る「うしくまっ子」たちです。こんな子どもたちを、こんな姿を増やしていきたいと思えます。

引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

「気づく・考える・行動する」 一歩上をめざす子どもたちを紹介します。

ニュース1：フれゼント

11月24日に、毎朝子どもたちの登校を見守っていただいているボランティアの方が、ニコニコしながら学校にお話に来てくださいました。いつもお世話になっている6名のボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えたくて、11月23日にお母様にもご協力いただきながらワッペンを作り、お手紙を書いてプレゼントをした子がいるのだそうです。6名の皆様の見守りに感謝し、自分にできることを

考え、行動したことを、本当にうれしく思います。

ここまでできなくても、毎朝大きな声であいさつができる子ども、増えているようです。

ステキですね！



ニュース2：保育園児との交流会

11月17日(水)に、5年生が「恵大保育園」を訪問して、来年度新一年生になる「ふじぐみの皆さん」と交流しました。24日(水)には、逆にお招きしました。24日に5年生が計画した『なかよくなるろう会』では、最初ちよっぴり緊張していた「ふじぐみの皆さん」が、どんどん笑顔になっていきました。

この企画は、今の6年生が5年生の時から始めたものです。

「しょうがっこうって、どんなところ なんだろう？」
と心配していた保育園の子どもたちが、笑顔でいっぱいになって
「はやく1ねんせいになりたい！」 「はやく4がつにならないかなあ…」
とってくれるようです。5年生には、笑顔を増やす力があるようです。
これからも、もっともっと笑顔を増やしてほしいと思えます



オニごっこ→



だるまさんがころんだ↙



しっぽとり↘



しっぽりの準備中↗

←はたとり

おみおくり→
「たのしかったねえ」
「またねえ!!」



【12月行事】

日 曜	校内行事
1 水	あいさつ運動・交通指導 安全点検日 委員会活動 4年チャレンジテスト(～17日)
2 木	SGL朝 ALT来校
3 金	5校時授業
4 土	土曜未来塾
5 日	
6 月	SGL帰 代表委員会
7 火	SGL朝 学校校納金集金(4～6年)
8 水	学校校納金集金(4～6年) てんとう虫号来校13:20～13:40
9 木	SGL朝 ALT来校 学校校納金集金(4～6年) MIM→PMテスト
10 金	SGL帰 第6回PTA役員会19:00評議委員会19:30
11 土	土曜未来塾
12 日	
13 月	SGL朝
14 火	SGL帰 標準学力調査(②算)
15 水	標準学力調査(②国)
16 木	標準学力調査(②理・③社) ALT来校
17 金	SGL朝 書初め大会③④(3・4・5・6年)
18 土	土曜未来塾
19 日	
20 月	SGL帰 あいさつ運動・交通指導 4校時授業 個人懇談会1日目
21 火	SGL朝 4校時授業 個人懇談会2日目
22 水	4校時授業 個人懇談会3日目
23 木	SGL朝 給食終了 5校時授業
24 金	2学期終業式
25 土	土曜未来塾
26 日	
27 月	
28 火	
29 水	
30 木	
31 金	

全国学力・学習状況調査 牛隈小学校

1.調査目的等

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2.学校ごとの指標

【短期指標】

目標値:国語・・・95以上、算数・・・100以上

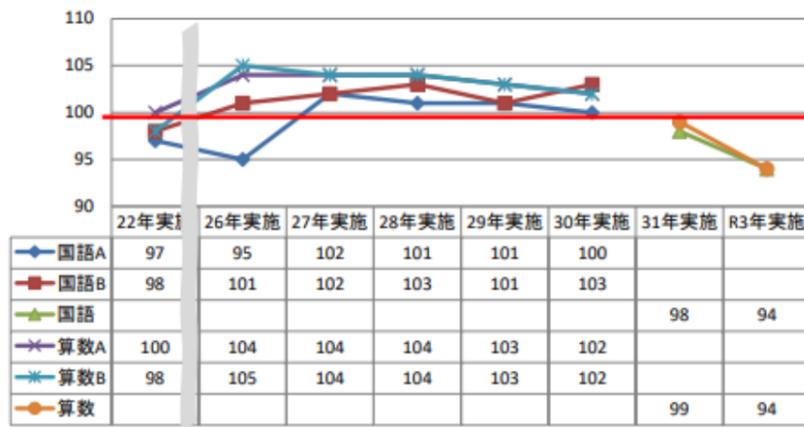
3.指標に向けての取組

・課題である読解力をつけるため、主体的な学習を目指す授業改善(子どもの課題追求・学びの振り返り)に取り組む。
 ・学力差に対応し、きめ細かく丁寧な繰り返しの指導を行う。

4.調査結果(全国の平均正答数を100としたときの文科省標準化得点)

	国語	算数
本校	94	94
嘉麻市	95	96
全国	100	100

推移



※ 平成31年度実施から「知識に関する問題(A問題)」と「活用に関する問題(B問題)」を一体的に問う形式に変更

5.各学校における分析

- 国語・算数ともに目標値に達していない。
- 記述式の問題に課題が多い。
- 国語は「目的に応じ、文章と図表を結び付けて、必要な情報を見付ける。(記述)」と「目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約する。(記述)」に特に課題がある。
- 算数は「複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて面積の求め方と答えを記述できる。(記述)」に特に課題がある。
- 日常生活でなじみのある内容の問題と比べ、説明文など初めて出合う事例を含む内容は正答率が低い。

6.各学校における今後の取組

- 本校の学力の推移、正答率の低かった問題の内容・趣旨などの共通理解を図り、学力向上に向けた取組の改善・精選を行う。
- 校内研究を中心として「書く活動ポイント9」を活用し、授業の中での思考を伴う書く活動の位置づけに努める。
- 児童が落ち着いて学習に取り組むことができるための環境づくりを行う。
- 特に学力の個人差が大きい学年では、算数科において複数体制での指導を行う。
- 特にC・D層の児童の基礎学力の定着に向け、「未来への一歩」を活用した全校での取組を実施する。

7.嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- 各学校が自校の課題を明確にするとともに、嘉麻市アクションプラン、嘉麻市学力向上全体構想をもとにした学力向上策を浸透・徹底させていくために、次の7点を中心に取組を進める。
- 学力向上プランを各教室に浸透・徹底させるための短期スパンのPDCAサイクルについて指導・助言を行う。
- 学力向上を図る上で効果のあった取組について共有化を図る研修を企画・運営する。
- 同一集団の学力や学力層の推移に着目しながら、学力向上策の評価・分析を行い取組の検証改善を図るように指導・助言する。
- 校内研修や学校訪問において、「書く活動ポイント9」の活用を促す等、思考を伴う書く活動の徹底指導を図るように指導・助言を行う。
- 学力向上に向けた取組が組織的・計画的に実施できるための指導・助言を行う。
- 家庭学習の習慣化、個別化に向けた取組についての交流や指導・助言を行う。
- 主幹教諭研修会において、それぞれの学校種の課題に即応する研修内容を工夫する。

ホームページにも記載しております。